

～不妊に悩む方を支援～

不妊検査・治療への助成件数は、令和5年度 2,790件

現
状
等

- 不妊を心配したことがある夫婦は3組に1組以上、不妊検査・治療経験がある夫婦は4.4組に1組で、増加傾向にあります（第16回出生動向基本調査（国立社会保障・人口問題研究所））
- 子供がいない方が希望の数の子供数を持たない理由として、「欲しいができない」「不妊治療にお金がかかりすぎる」などが上位を占めています（令和5年度広島県少子化対策・子育て支援に関する調査）

本県では、将来子供を授かることを望むご夫婦や、不妊に悩むご夫婦への支援に取り組んでいます。

不妊検査・治療費の助成

平成27年度から、不妊検査・一般不妊治療費の一部助成を開始し、特定不妊治療が保険適用となった令和4年度には、県独自に、先進医療に要した費用への助成を開始しました。

さらに、令和5年度から助成対象を拡充し、先進医療技術の併用に伴い全額自己負担となった方を対象に、治療1回あたり30万円を上限とする新たな助成を開始しました。

<令和5年度実績>

不妊検査・一般不妊治療	特定不妊治療（先進医療）	特定不妊治療（全額自己負担）	合計
770件	1,705件	315件	2,790件

特定不妊治療支援に係る令和5年度の拡充ポイント



▲広島県公式サイト
(特定不妊治療支援)

どんな
支援？

【助成対象】

特定不妊治療（※1）のうち、先進医療等を併用することにより、本来保険適用となる治療も含め、全額自己負担となった治療に要した費用

【助成額】

上限 30万円

実績は？

【令和5年度】

助成件数 315件

※1 特定不妊治療とは、体外受精、顕微授精、男性不妊治療。

※2 基本的な治療も含めて全額自費診療になった治療に要した費用の7割と、1回あたりの上限額を比較して少ない額。ただし、採卵のみで治療を中止した場合や以前に凍結した胚を使った治療のみを行った場合は上限10万円。

相談・交流への支援

広島県不妊専門相談センターでは、電話・メール等による個別相談のほか、妊活セミナーや妊活交流会なども無料で実施しており、専門の相談員（助産師）が対応しています。

広島県不妊専門相談センターによる支援のポイント

無料・匿名で
助産師に相談できる

ポイント

どんな
ことを
相談
できるの？

- ・子供が欲しいけどなかなか妊娠しない…
- ・夫婦でしっかりと話し合えない
- ・仕事と不妊検査・治療の両立が難しい
- ・不妊治療をいつまで続けるか悩んでいる
- ・検査・治療の費用や助成制度について知りたい など

自分に合った
相談方法が選べる

ポイント

どうやって
相談
できるの？

【電話相談】

082-870-5445

月・木・土曜日10:00~12:30

火・水・金曜日15:00~17:30（祝日・年末年始は除く）

【メール相談】

24時間受付。原則1週間以内に返信します。

【その他】

オンライン相談や心理士による相談、妊活セミナー・妊活交流会も実施しています。



▲広島県不妊専門相談センター特設サイト

実績は？

【令和5年度】

相談件数 電話167件、メール136件、面談相談28件

妊活セミナー2回、妊活交流会2回（福山市、三次市）など



元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま



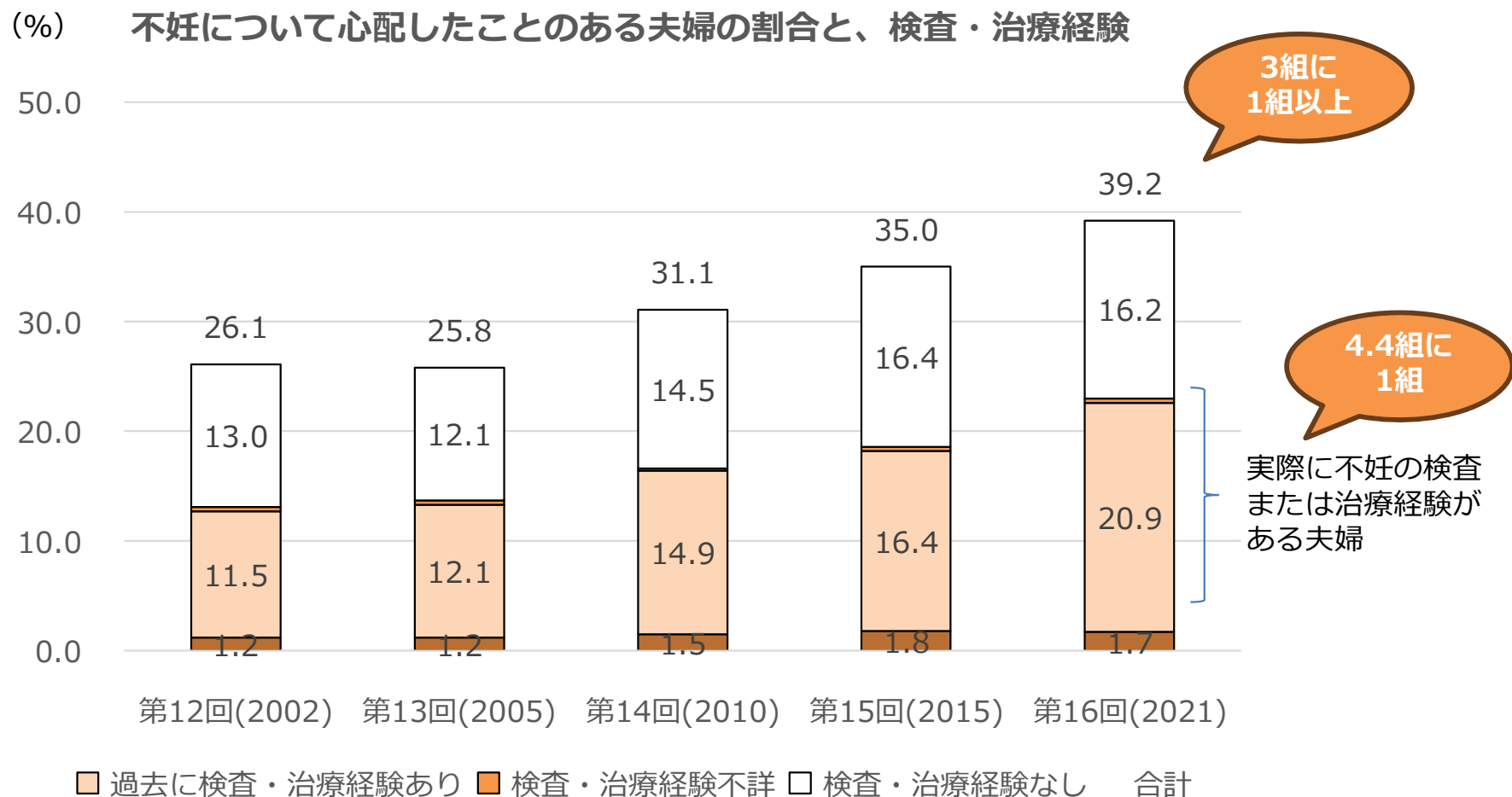
(参考)

不妊に悩む方への支援について



(現状等①) 不妊検査・治療経験

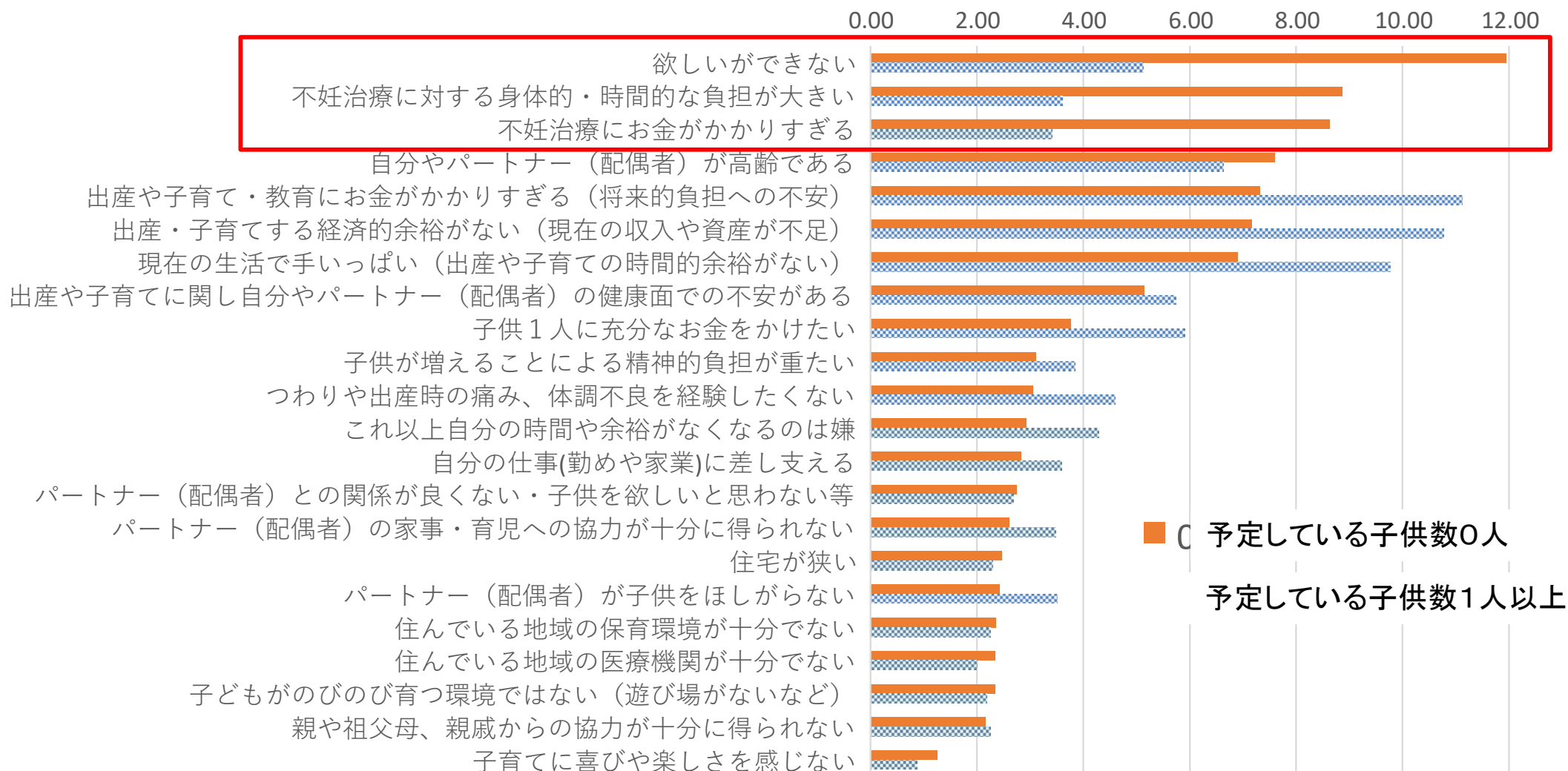
○不妊について心配したことがある夫婦の割合は、39.2%（3組に1組以上）
○実際に不妊の検査または治療経験がある夫婦の割合は、22.7%（4.4組に1組）
→いずれも増加傾向



出典 第16回出生動向基本調査（国立社会保障・人口問題研究所）

(現状等②) 希望の子供数を持たない理由

○ 希望の子供数を持たない理由について調査を行ったところ、子供がいない人（「予定している子供数0人」の人）では、「欲しいができない」「不妊治療に対する身体的・時間的な負担が大きい」「不妊治療にお金がかかりすぎる」が上位であった。



	いつから？	平成27年度
<p>ポイント</p> <p>保険適用外の治療費も助成対象</p>	どんな支援？	<p>【助成対象】 夫婦ともに不妊検査を受けた場合の、不妊検査・一般不妊治療費の一部を助成</p> <p>【助成額】 ・自己負担の1/2、上限5万円 ・保険適用の有無は問わない</p> <p>【対象となる方】 ・不妊検査開始時の妻の年齢が35歳未満 ・どちらかが不妊検査を受診して概ね3か月以内にパートナーも不妊検査を受けた夫婦 ・申請時に県内（広島市・福山市・呉市を含む）に居住の方 ・所得制限なし、事実婚の方を含む</p> <p>【助成回数】 1組の夫婦につき1回限り</p>
<p>ポイント</p> <p>不妊検査を受けるカップルを後押し※</p>		<p>ポイント</p> <p>助成を活用するカップルが増加中 (前年度比114%)</p>
		実績は？

※令和5年度助成決定者アンケートより

「助成があるなら不妊検査を受けてみようという気持ちになった」37%、「夫婦そろって検査するきっかけになった」23%

いつから？	令和4年度
<p>ポイント</p> <p>保険適用にならない先進医療費をサポート</p> <p>ポイント</p> <p>自己負担の軽減だけでなく治療の選択肢の拡大にもつながる※</p> <p>ポイント</p> <p>助成を活用するカップルが増加中 (前年度比139%)</p>	<p>【助成対象】 保険診療で実施される特定不妊治療等に併せて行われた先進医療に要した費用</p> <p>【助成額】 特定不妊治療又は男性不妊治療に併せて行われた先進医療又は審議中の技術に要する自己負担額の合計の1/2 (上限5万円)</p> <p>【対象となる方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・治療期間初日における妻の年齢が43歳未満の夫婦 ・申請時に県内（広島市・福山市・呉市を含む）に居住の方 ・所得制限なし、事実婚の方を含む <p>【助成回数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1子につき6回まで（初めて助成を受けた際の治療期間初日の妻の年齢が40歳以上の場合は、3回まで） ・助成回数は全額自費診療への助成と合算する
実績は？	<p>【令和5年度】 助成件数 1,705件（前年度比139%）</p>

※令和5年度助成決定者アンケートより

本事業を利用できることで、治療の選択肢が「広がったと思う」49%、「狭まらずに済んだ」44%

特定不妊治療（全額自費診療）に関する支援

いつから？	令和5年度 (令和5年度中の申請に限り、令和4年度分の治療もさかのぼって適用)
どんな支援？	<p>【助成対象】 特定不妊治療（体外受精・顕微授精）又は男性不妊治療のうち、先進医療等を併用することにより、本来保険適用となる治療も含め、全額自己負担となった治療に要した費用</p> <p>【助成額】 ・ 基本的な治療も含めて全額自費診療になった治療に要した費用の7割と1回あたりの上限額を比較して少ない額 ・ 上限額は、治療1回あたり30万円。ただし、採卵のみで治療を中止した場合や以前に凍結した胚を使った治療のみを行った場合は上限10万円</p> <p>【対象となる方】 ・ 治療期間初日における妻の年齢が43歳未満の夫婦 ・ 申請時に県内（広島市・福山市・呉市を含む）に居住の方 ・ 所得制限なし、事実婚の方を含む</p> <p>【助成回数】 ・ 1子につき6回まで（初めて助成を受けた際の治療期間初日の妻の年齢が40歳以上の場合は、3回まで） ・ 助成回数は先進医療への助成と合算する</p>
実績は？	<p>【令和5年度】 助成件数 315件</p>

ポイント

自己負担の軽減だけでなく
治療の選択肢の拡大
にもつながる※1

ポイント

事実婚の方も対象、
所得制限なし※2

- ※1 令和5年度助成決定者アンケートより
本事業を利用できることで、治療の選択肢が「広がったと思う」29%、「狭まらずに済んだ」42%
- ※2 不妊検査・一般不妊治療費及び特定不妊治療費（先進医療・全額自費診療）への助成に共通。

<p>ポイント</p> <p>無料・匿名 で相談できる</p>	<p>どんな ことを 相談 できるの？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が欲しいけどなかなか妊娠しない… ・不妊検査や治療について知りたい ・夫婦でしっかりと話し合えない ・仕事と不妊検査・治療の両立が難しい ・不妊治療をいつまで続けるか悩んでいる ・流産を繰り返すので不安 ・検査・治療の費用や助成制度について知りたい など
<p>ポイント</p> <p>専門資格※を持つ 助産師が対応</p>	<p>どうやって 相談 できるの？</p>	<p>【電話相談】 082-870-5445 月・木・土曜日10:00～12:30 火・水・金曜日15:00～17:30（祝日・年末年始は除く）</p> <p>【メール相談】 専用フォームから送信してください 24時間受付。原則1週間以内に返信します。</p> <p>【オンライン相談】 専用フォームから送信してください 事前予約制、1回50分。 第1土曜日13:00～15:00 第3木曜日19:00～21:00（祝日・年末年始は除く）</p> <p>【その他】 心理士の面談相談や、妊活セミナー・妊活交流会も実施。 詳しくは広島県不妊相談センター特設サイトへ。</p>
<p>ポイント</p> <p>自分に合った方法 で相談できる</p>	<p>実績は？</p>	<p>【令和5年度】 相談件数 電話167件、メール136件、オンライン相談28件 妊活セミナー2回、妊活交流会2回（福山市、三次市）など</p>

妊活のことなら

広島県
ふたりの妊活
全力応援サイト



子どもが欲しい夫婦・カップルを
全力でサポートします！
妊活の基礎知識から、意外と知らない豆知識まで全てお届けします

楽しくやっぺいこう！
子どものいる生活が楽しみ！
無理なく進められる！
2人で一緒にがんばるぞ！

妊活 女性の妊活 2人で妊活 先輩の声 周囲の方へ Q&A 相談機関 助成金

制度全般のことなら
助成申請するなら

広島県公式サイト
(不妊・不育)



▲広島県不妊専門相談センター特設サイト



▲メール相談予約
専用フォーム



▲オンライン相談予約
専用フォーム



相談・交流
するなら

広島県
不妊専門相談センター



広島県
不妊専門相談センター